一般社団法人山口県医師会平成30年度第11回理事会

8月23日 午後5時～6時27分

河村会長、林・今村副会長、加藤専務理事、萬・沖中・中村・清水・前川常任理事、白澤・山下・伊藤・吉水・郷良・河村・長谷川理事、藤野・篠原・岡田監事

協議事項

1 第1回都道府県医師会長協議会の議題について

『医師の働き方改革』とともに進めるべきことを議題として提出することが決定した。

2 郡市医師会との懇談会の議題について

宇部市医師会から提出された質問に対する本会の見解について協議を行った。

3 母体保護法による指定医師の申請について

済生会下関総合病院より1名の母体保護法指定医師の申請があった。「母体保護法指定医師審査委員会」は、本会会長より諮問を受け審査にあたり、指定医師として承認する旨の審査結果を答申し、承認された。

4 社会保険指導者講習会の受講申込みについて

10月3日（水）・4日（木）に日本医師会において開催される標記講習会の受講者として5名を推薦することが決定した。

5 児童虐待の発生予防等に関する研修会について

例年、山口県産婦人科医会と共催で実施している標記研修会を10月21日（日）に本会において、周南市の田中病院の田中泰雅 院長及び大分県産婦人科医会の岩永成晃 副会長による講演2題で開催することが決定した。

6 日本医師会 平成30年7月豪雨による被災医療機関等に対する支援金について

郡市医師会を經由して各会員に協力依頼した標記支援金の集計状況について報告が行われた。なお、本会から50万円、本会役員から20万円を支援することが決定した。

7 平成30年7月豪雨災害による被災医療機関に対する見舞金について

7月5～6日の豪雨による会員の被災状況が岩国市及び光市医師会より報告された。会員の災害見舞金については、平成23年度までは「山口県医師互助会」の事業として見舞金の支給を行っていたが、新公益法人移行に伴い互助会が廃止されたことから、新たに設置した「災害見舞金の基準」に基づき対応してきた。

この度、交付基準の一部見直しを行い、新基準に基づき2医療機関に各10万円の見舞金を贈呈することが決定した。

<新・災害見舞金の交付基準>

1. 交付基準

- (1) 「災害救助法が適用された市(町)区域」又は「激甚災害の指定を受けた地域」の災害であること。
- (2) 医療機器、医療施設の被害額及び復旧費用の合算額が50万円以上であること。
- (3) (2) の概算額は郡市医師会長の副申とする。

2. 見舞金額

被害額等	50万円～200万円未満	見舞金	5万円
同	200万円以上	同	10万円

8 平成30年7月豪雨災害に対する島原市医師会からの義援金の活用について

島原市医師会より、平成30年7月豪雨災害による被災者に対しての義援金30万円が被災状況等が不明であるとの理由から本会宛に送られてきた。この義援金は、平成3年に起こった雲仙普賢岳噴火災害に対し、本会より長崎県医師会を經由して島原市医師会へ見舞金を送ったことに対するものであり、協議7で決定した、災害見舞金新基準に合わせて被害額の多かった2医療機関に対して活用することが決定した。

9 日医2018年度「第2回医師主導による医療機器開発のためのニーズ創出・事業化支援セミナー」の後援について

日本医師会より、全国6か所で開催される標記セミナー（平成30年度経済産業省委託事業）に対する名義後援の依頼があり、承認された。近隣では、中国・四国地域セミナーとして、10月13日（土）に広島市で開催される。

10 山口朝日放送株式会社主催の市民公開講座健康セミナーの名義後援について

柳井市において「肝臓について勉強しよう！～健康は肝臓から。早期発見、早期治療が肝要～」をテーマに開催される標記セミナーの名義後援の依頼があり、承認された。

11 多職種で考える！ 防災の意識醸成研修会の名義後援について

(名) スタンダードケア及び周南つなぎびとの会の主催により開催される標記研修会の名義後援の依頼があった。開催の目的等に問題はないが、県内あらゆる団体への後援は対応できないことから、本件に関しては後援しないことが決定した。

報告事項

1 勤務医部会第2回企画委員会（8月18日）

第1回企画委員会で決定した今年度事業の詳細について協議を行い、座談会のテーマは「山口県の専攻医を増やすには」、部会主催のシンポジウムは「AIについて」等が決定した。(中村)

2 第49回中四九地区医師会看護学校協議会（8月18～19日）

島原市医師会看護学校の引受けにより「ゆとり世代への看護教育～地域に根ざす看護師を育てる～」をテーマに開催された。「看護職員の養成と確保について」(厚生労働省医政局看護課 島田陽子 課長)、「地域に必要な看護職をどう確保するか」(日本医師会

釜菴 敏 常任理事) 等、5つの講演が行われた。(沖中)

3 第3回山口県糖尿病療養指導士講習会 (8月19日)

「療養指導の基本(患者教育)」「ライフステージ別の課題と療養指導」「急性合併症」「慢性合併症1(細小血管症)」の講義が行われ、最後に確認テストが行われた。受講者174名。(吉水)

4 山口県小児救急医療電話相談事業研修会 (8月19日)

平成29年度標記事業の実績報告及び#8000対応者研修の報告後、NPO法人小児救急医療サポートネットワークの2名の理事による研修「『音声だけの会話』を意識して～電話相談にできることとできないこと～」を行った。参加者34名。(前川)

5 中国四国医師会連合学校保健担当理事連絡協議会 (8月19日)

島根県医師会の担当で開催され、本県提出の議題「学校医としていじめ問題にどのように取り組んでいるか」「ピロリ菌検査の実施について」等、各県から提出のあった10題について意見交換を行った。また、日本医師会への要望については、道永常任理事より回答が行われた。(河村)

6 中国地区学校保健・学校医大会 (8月19日)

岡山大学大学院保健学研究科の中塚幹也 教授による「LGBTの基礎と学校における子どもへの対応」、日本医師会の道永麻里 常任理事による「学校保健の現状と課題」の特別講演2題及び研究発表5題が行われた。山口県からは、(医)たにむら小児科の谷村 聡理事長による「周南地区の小児ピロリ菌感染の実態」が発表された。(河村)

7 日本医師会監事会 (8月20日)

会計の収支報告と医師年金の報告を受けた。(河村会長)

8 日本医師会第6回理事会 (8月21日)

日本医師会設立71周年記念式典並びに医学大会被表彰者の選考、全国医師会・医師連盟 医療政策研究大会、各種委員会委員の委嘱等について協議を行った。(河村会長)

9 山口県警察官友の会理事会・総会 (8月22日)

理事会において、平成29年度事業報告・決算報告、平成30年度事業計画・予算、役員改選の(案)について決定し、その後開催された総会において審議、承認された。講演会では、県警本部交通部交通企画課の伊勢嶋 満良 課長による講演「高齢ドライバーによる事故の現状と対策について」が行われた。(河村会長)

医師国保理事会 一第9回一

1 傷病手当金支給申請について

1件について協議、承認。